

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 28 年 3 月 17 日 (2016.3.17)

【公表番号】特表 2015-506371 (P2015-506371A)

【公表日】平成 27 年 3 月 2 日 (2015.3.2)

【年通号数】公開・登録公報 2015-014

【出願番号】特願 2014-554804 (P2014-554804)

【国際特許分類】

C 07 D 453/06 (2006.01)

C 07 D 495/20 (2006.01)

C 07 D 491/20 (2006.01)

【F I】

C 07 D 453/06 C S P

C 07 D 495/20

C 07 D 491/20

【誤訳訂正書】

【提出日】平成 28 年 1 月 20 日 (2016.1.20)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0029

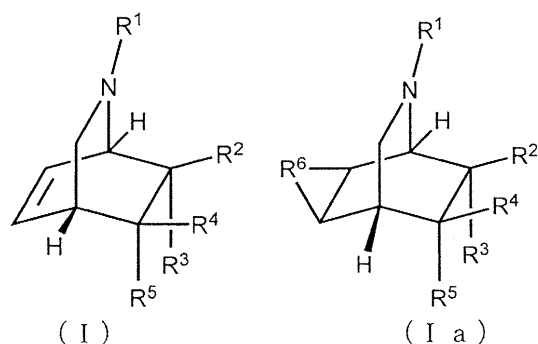
【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0029】

一態様において、本発明は、式 (I) もしくは (I a) :

【化 9】



の化合物またはその塩を提供する

[式中、

R¹ は、水素、-CO₂R¹¹、-COR¹²、-C(R¹³)₃ および別のアミン保護基からなる群から選択され、

R¹¹ は、C₆-C₁₀ アリール、C₃-C₈ シクロアルキル、C₂-C₁₀ ヘテロアリール、C₃-C₈ ヘテロシクリル、ハロ、アミノ、-N₃、ヒドロキシ、C₁-C₆ アルコキシ、シリル、ニトロ、シアノおよび CO₂H またはそのエステルからなる群から選択される 1~3 個の置換基で任意に置換された C₁-C₆ アルキル、C₂-C₆ アルケニル、C₂-C₆ アルキニル、C₆-C₁₀ アリール、C₂-C₁₀ ヘテロアリール、C₃-C₈ シクロアルキルおよび C₃-C₈ ヘテロシクリルからなる群から選択され、

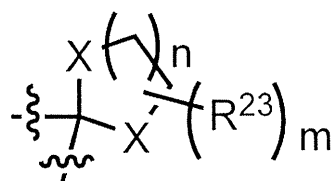
R¹² および R¹³ は、水素、C₆-C₁₀ アリール、C₃-C₈ シクロアルキル、C

$C_2 - C_{10}$ ヘテロアリール、 $C_3 - C_8$ ヘテロシクリル、ハロ、アミノ、 $-N_3$ 、ヒドロキシ、 $C_1 - C_6$ アルコキシ、シリル、ニトロ、シアノおよび CO_2H またはそのエステルからなる群から選択される 1 ~ 3 個の置換基で任意に置換された $C_1 - C_6$ アルキル、 $C_2 - C_6$ アルケニル、 $C_2 - C_6$ アルキニル、 $C_6 - C_{10}$ アリール、 $C_2 - C_{10}$ ヘテロアリール、 $C_3 - C_8$ シクロアルキルおよび $C_3 - C_8$ ヘテロシクリルからなる群から独立して選択され、

R^2 および R^3 は独立して、水素、ヒドロキシ、 $C_1 - C_6$ アルキル、 $C_2 - C_6$ アルケニルおよび $C_2 - C_6$ アルキニル、 $-SR^{2.1}$ および $-OR^{2.2}$ からなる群から選択され、ここで、前記アルキル、アルケニルまたはアルキニル基は、ケト、ハロ、 $C_1 - C_6$ アルコキシ、アミノ、ヒドロキシ、シアノ、ニトロ、 $-NHCOCH_3$ 、 $-N_3$ および $-CO_2H$ またはそのエステルからなる群から選択される 1 ~ 3 個の置換基で任意に置換されており、ただし R^2 および R^3 のうちの少なくとも 1 つが、好ましくは R^2 が、非水素置換基であり、または

R^2 および R^3 は、それらが結合している炭素原子と一緒に、ケト ($C=O$) 基、シフ塩基 ($=NR^{2.4}$)、式 $=CR^{2.5}R^{2.6}$ のビニリデン部分を形成するか、または、式：

【化 10】



の五 ~ 六員の環状のケタールまたはチオケタールを形成し、

各 $R^{2.1}$ は、 $C_6 - C_{10}$ アリール、 $C_3 - C_8$ シクロアルキル、 $C_2 - C_{10}$ ヘテロアリール、 $C_3 - C_8$ ヘテロシクリル、ハロ、アミノ、 $-N_3$ 、ヒドロキシ、 $C_1 - C_6$ アルコキシ、シリル、ニトロ、シアノおよび CO_2H またはそのエステルからなる群から選択される 1 ~ 3 個の置換基で任意に置換された $C_1 - C_6$ アルキル、 $C_2 - C_6$ アルケニル、 $C_2 - C_6$ アルキニル、 $C_6 - C_{10}$ アリール、 $C_2 - C_{10}$ ヘテロアリール、 $C_3 - C_8$ シクロアルキルおよび $C_3 - C_8$ ヘテロシクリルからなる群から独立して選択され、

各 $R^{2.2}$ は、 $C_6 - C_{10}$ アリール、 $C_3 - C_8$ シクロアルキル、 $C_2 - C_{10}$ ヘテロアリール、 $C_3 - C_8$ ヘテロシクリル、ハロ、アミノ、 $-N_3$ 、ヒドロキシ、 $C_1 - C_6$ アルコキシ、シリル、ニトロ、シアノおよび CO_2H またはそのエステルからなる群から選択される 1 ~ 3 個の置換基で任意に置換された $C_1 - C_6$ アルキル、 $C_2 - C_6$ アルケニルおよび $C_2 - C_6$ アルキニルからなる群から独立して選択され、

ここで、出現する X はいずれも酸素または硫黄のいずれかであり、

m は 1、2、3 または 4 であり、

n は 1 または 2 であり、

$R^{2.3}$ は、 $C_1 - C_6$ アルキルおよび $C_6 - C_{10}$ アリールからなる群から選択され、

$R^{2.4}$ は、 $C_6 - C_{10}$ アリールおよび $C_2 - C_{10}$ ヘテロアリールからなる群から選択され、

$R^{2.5}$ は、水素、 $C_1 - C_6$ アルキル、 $C_2 - C_6$ アルケニルおよび $C_2 - C_6$ アルキニルであり、ここで、前記アルキル、アルケニルまたはアルキニル基は、ケト、 $C_1 - C_6$ アルコキシ、アミノ、ヒドロキシ、シアノ、ニトロ、 $-NHCOCH_3$ および $-CO_2H$ またはそのエステルからなる群から選択される 1 ~ 3 個の置換基で任意に置換されており、

$R^{2.6}$ は水素または $C_1 - C_6$ アルキルであり、

R^4 および R^5 は、水素、ハロ、および、 $C_6 - C_{10}$ アリール、 $C_3 - C_8$ シクロアルキル、 $C_2 - C_{10}$ ヘテロアリール、 $C_3 - C_8$ ヘテロシクリル、ハロ、アミノ、 $-N_3$ 、ヒドロキシ、 $C_1 - C_6$ アルコキシ、シリル、ニトロ、シアノ、ビニル、エチニルおよび CO_2H またはそのエステルから選択される 1 ~ 3 個の置換基で任意に置換された $C_1 - C_6$ アルキルからなる群から独立して選択され、

R^6 は、 $-O$ 、 $-NH$ - および $-NR^{61}$ からなる群から選択され、

R^{61} は、水素、 $-SO_2R^{62}$ およびアミン保護基からなる群から選択され、

R^{62} は、2 ~ 5 個のハロ基で任意に置換された $C_1 - C_6$ アルキルおよび 1 ~ 3 個の $C_1 - C_6$ アルキル基とハロ基で任意に置換された $C_6 - C_{10}$ アリールからなる群から選択され、

前記アミン保護基は、 $-CO_2CMe_3$ 、 $-CO_2Bn$ 、 $-CO_2$ - アリル、 $-Fmoc$ (フルオレニル (fluorenyl) オキシメチル)、 $-COCF_3$ 、 $Bn(CH_2Ph)$ 、 $-CHPh_2$ および $-CPh_3$ からなる群から選択され、

ここで、前記シクロアルキル、ヘテロシクリル、アリールまたはヘテロアリールは、 $C_1 - C_6$ アルキル、 $C_2 - C_6$ アルケニル、 $C_2 - C_6$ アルキニル、 $C_6 - C_{10}$ アリール、シクロアルキル、 $C_2 - C_{10}$ ヘテロアリール、 $C_3 - C_8$ ヘテロシクリル、ハロ、アミノ、 $-N_3$ 、ヒドロキシ、 $C_1 - C_6$ アルコキシ、シリル、ニトロ、シアノおよび CO_2H またはそのエステルからなる群から選択される 1 ~ 3 個の置換基で任意に置換されている]。